

## セントラル硝子が欧米の自動車用ガラス事業を譲渡 – 格付への影響は限定的

以下は、セントラル硝子株式会社（証券コード：4044）の特定子会社の異動（株式譲渡）についての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

### ■見解

- (1) 当社は4月1日、自動車用ガラス事業の製造・販売を手掛ける米国 Carlex Glass America, LLC と欧州 Carlex Glass Luxembourg S.A.の株式を譲渡し、海外ガラス事業から撤退することを発表した。これにより、22/3期決算において特別損失を約475億円計上し、最終利益の予想を380億円の赤字（前回発表予想は25億円の黒字）に修正した。
- (2) 22/3期第3四半期末の自己資本は1,691億円、自己資本比率は58.9%となっている。今般の大幅な赤字により自己資本は毀損するものの、良好な財務構成は依然として維持できると考えている。海外ガラス事業の業績は、米国では直近2期連続で営業赤字を計上するなど厳しい状況にあることから、本件により23/3期以降の利益やキャッシュフローの改善が見込まれる。これらを踏まえ、格付への影響は限定的であると判断している。JCRではこれまでもガラス事業の採算性改善の状況に注目してきた。今後は国内ガラス事業の構造改善の進捗と業績への影響を確認していく。

(担当) 井上 肇・三浦 麻理子

### 【参考】

#### 発行体：セントラル硝子株式会社

長期発行体格付：A-                      見通し：安定的

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部    TEL：03-3544-7013    FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル